

主 文

本件上告を棄却する。

理 由

被告人本人の上告趣意は、量刑不当の主張であり、弁護人土生照子の上告趣意のうち、判例違反をいう点は、所論引用の判例はすでに変更されたものであり、憲法一四条違反をいう点は、実質において単なる法令違反の主張であつて、いずれも刑法四〇五条の上告理由にあたらない。

よつて、同法四一四条、三八六条一項三号、一八一条一項但書により、裁判官全員一致の意見で、主文のとおり決定する。

昭和五一年三月五日

最高裁判所第二小法廷

裁判長裁判官	本	林	讓
裁判官	岡	原	昌男
裁判官	大	塚	喜一郎
裁判官	吉	田	豊